

第二十二回帝國議會
衆議院

關稅定率法改正法律案委員會會議錄(速記)第二回

會議

明治三十九年三月八日午前十時四十分開議

出席委員左ノ如シ

栗原 亮一君	駒林 廣運君	波多野傳三郎君
武市 庫太郎君	森本 駿君	荻野 左門君
大井 卜新君	内山 吉太君	佐藤 虎次郎君
七里 清介君	大津 淳一郎君	神崎 東藏君
佐治 幸平君	藤 金作君	福島 勝太郎君
東尾 平太郎君	星 松三郎君	川真田德三郎君
石谷 傳四郎君	山本 悌二郎君	

出席政府委員左ノ如シ

大藏次官 若槻禮次郎君

大藏省主稅局長 櫻井鐵太郎君

大藏書記官 山崎四男六君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

關稅定率法改正法律案

○委員長栗原亮一君 ソレデハ會ヲ開キマスガ、餘程是ニハ質問ガ多カラウト思ヒマスガ、便宜ノため、先以テ政府委員カラシテ説明ヲ聞イタルドウデス

○政府委員若槻禮次郎君 現行ノ關稅定率法ハ、明治三十年ニ出來テ居リマスガ、御承知ノ如ク改正條約實施前ニハ、總テ輸入稅ハ五分ノ輸入稅ヲ課スルコトニナツテ、ドンナ物デモ同様ニナツテ居タルデアリマス、サウ云フ時代ニ於テ出來タノガ、明治三十年ニ出來タル關稅定率法デアリマス、當時ハ十分慎重ニ調査シテ一定主義ヲ立テテ、粗製品ノ稅ハ輕クスル、精製品ハ是ヨリモ重クスル、奢侈ニ屬スル品ハ稅率ヲ一層重クスルト云フヤウナ、大體ノ方針ヲ立テテ居リマスケレドモ、何シロ五分稅ト云フモノデアタモノガ、一朝變ル際ニ調ベタモノデアリマスカラ、其間自カラ貨物ノ分類ノ違ウノガアリマシテ、或ハ甲乙ノ間ニドツチニ這入ルカ分ラヌヤウナモノガアツタリ、或ハ這入方ニ依ツテ、不公平ニ課稅スルモノモアルコトハ免レマセヌ、大體ニ於テ唯今申シタヤウニ、慎重ニ調ハシマシタケレドモ、何シロサウ云フ場合デアリマスカラ、甲乙ノ間ニ權衡ヲ得ナイモノモアレバ、ドツチニ入レテ宜イカ、不明ノモノモアリマス、ソレガタメニ施行以來、隨分訴願等ガ起ツテ、稅目ノ適用ニ付イテハ、隨分爭ガアツテ、今日マデ來テ居ルデアリマス、ソレデ今回ハソコヲ不完備ナ點ヲ直シタメニ、大體ニ於テ原料品、殊ニ原料品ニシテ内地ニ產出シナイモノハ、無稅ニスル、原料品中デモ内地ニ生產スルモノニ付イテハ、幾ラカ稅ヲ取ルガ稍、輕クシテ置ク、粗製品ニ向ッテハ重クスル、製造品デモ製造シテ多ク外國ヘ出スモノデアレバ、幾ラカ輕クスルト云フヤウナ工合ニ、各々主義ヲ立テテ、サウシテ中ニハ或ハ粗製品デ、精製品デナクトモ、内地ヘ這入ッテ内地デ悉ク消費セラルモノモ、或場合ニ依ッテ關稅ヲ取ルト云フモノハ、是又財政上ノ適當デサウ云フ

ヤウナモノハ、其主義ヲ以テ各々稅目ニ付イテ主義ヲ執ツテ、從來稅目ノ分類ガ彼ニ屬スルカ是ニ屬スルカ分ラヌモノヲ、ハッキリ屬スル規定ヲ設ケタイ、尙今日此國稅ヲ改正致シマス、經常歲入ノ増加致スハ、無論財政上大ナル便宜ヲ得ルコトガアリマス故ニ、關稅ヲ改正シテ、是ヨリ收入ヲ得ラルナラバ、是ハ今後ノ財政ニハ便宜デアラウト思ヒマスカラ、此改正ヲ致シタイノデアリマス、其細カイ處ハ箇所々々ニ付イテ理由ハゴザイマスガ、大體サウ云フヤウナコトデ、稅率ノ改正ヲ致シマス、茲ニ此法則ニ於テモ是マデナカッタモノヲ段々入レマシタガ、其中重モノヲ申シマス、是マデハ協定稅率ノ適用ノナイ國ノ製產品ニ對シテハ、悉ク國定稅率ヲ適用シテ居リマシタガ、其國ニハ協定稅率ノアル國ノ生產ヨリモ、サウマデ待遇スルノハ我國ノ不利益デナイヤウナ場合モアルノデアリマスカラ、サウ云フモノニ付イテハ矢張協定稅率ノ適當ニアル國同様、或ハソレヨリ幾ラカ重クナラヌコトハ場合ニ依ッテ出來ルト云フヤウナコトニシテ、其間ニ權衡ヲ取ツテ往クヤウニシテ往キタイ、或ハ日本ノ船舶、或ハ日本ノ生產品ニ對シテ、不利益ヲ與フル國ノ生產品ニ對シテハ、コチラデモ之ニ對シテ他ヨリモ一層重ク課稅スルコトガ出來ルヤウナ道ニ設ケル、或ハ外國ニ於テ輸出獎勵金ヲ與ヘテ居ル、ソレガタメニ内地ノ生產ト甚シク競争シテ來ルト云フヤウナモノニ付イテハ、場合ニ依ッテ、其獎勵金ト差引ノ出來ルヤウナ課稅ヲシテ、内地ノ生產ヲ保護スルコトノ出來ルヤウナ規定ヲ設ケマシタ、或ハ外國カラ輸入シタル原料品デモ製造品ヲ製造シテ、更ニ外國ヘ輸出スル場合ニハ、其原料品ニ對シテハ戻稅ノ規定ヲ設ケルヤウニ致シタイ、若クハ今日輸入品ニ付イテハ、免稅ノ規定ガアリマスガ、其免稅ノ規定ハ十分デナクテ、物ニ依ッテハモウチット他ニ免稅スル必要ナモノガアルト云フヤウナモノニ向ッテ、此免稅ノ規定ヲ完備セシメタヤウナコトハ、重モノモノデアリマス、尙其稅表ニ付イテモウツツ申上ゲマスガ、從來ノ關稅法デハ、稅率表ハ總テ從價何割ト從價稅ヲ定メテ置イテ、其中一二ノ例外ハアリマスガ、從價稅率ヲ出シテ、勅令デ之ヲ改メルト云フ仕組ニナツテ居リマス、此事ハ從來カラ日本ニ行ハレテ居タルコトデアリマス、實際ニハ適スルコトデアリマスガ、併ナガラ一方カラ言ヒマス、稅率ト云フモノハ是ハ大切ナモノデアリマス、出來ルナラバ成ルベク帝國議會ノ協贊ヲ得テ、改正スルヤウニスル方ガ宜イノデアリマスカラ、ソコデ今度大體ニ於テ斯ウ云フ稅率ヲ設ケタナラバ、稍々折合ガ立ッテ往ク、サウシテ餘リ價ノ變動ノナイモノニ付イテハ、法律ヲ指ヘテ議會ノ協贊ヲ經ルヤウニ改メタイ、是ハ從來ノ仕組ト違ッテ居リマス、ソレ故ニ稅率ヲ改正スルナラバ、稅表ハ簡便ニシタ方ガ宜イ、然ルニ從前ヨリモ稅目ノ數ガ殖エタノハ、一層煩雜ニナツタト云フヤウナ風ニ考ヘマシテ居ルヤウデアリマスケレドモ、サウデハナイ、是ハ從價價出スト、餘程是ハ稅目ハ簡明ニナル譯デアリマスガ、從價ニナシテ成ルベク議會ノ協贊ヲ仰イデ、之ヲ制定シテ往キタイト云フ主義ヲ執リマシタメニ、從價價出セハ一ツデ宜イモノモ、從價ニスレバ分ケマセヌト、物ノ價力違ヒマスカラ、自カラ價ノ違ッタ物ニ依ッテ分ケナレバナラヌト云フ工合デ、簡明ニシテ主義ハ通りマス、ソレ故ニ先キカラ申上ゲマスル如ク、分類ヲ成ルベク甲乙

二分ケルヤウニ努メマシタガ、併ナガラ收入ハ殖ヤサナケレバナリマセヌケレドモ、政府が調ベタ方針ハ成ルベク簡明ニシタイト云フ主義ヲ執ッテ調ベマシタ、併シ争ノアルベキ物品ハ、簡明々々テ、概括名稱ノ下ニ置クト、何ノ名稱ノ下ニ這入ルカト云フコトハ、矢張争ガアリマスカラ、争ノ起リサウナモノハ、特別ニ名前ヲ舉ゲテ、必ズ此處デアルト云ウテ、ソコノ間ニ論争ノ起ラヌヤウニシタノハ、今回改正ヲスル上ニ注意ヲ加ヘタ點デアリマス、細目ニ互リマシレバ、此處ニアリマスル五百幾ツト云フ税目デアリマスカラ、是ヲ一々説明申上ゲカネマスカラ、イヅレ委員長ニ願ヒタイノデアリマス、一類一名位ニ付イテ質問ヲシテ下サルヤウニシテ、ソレニ付イテ、一々御答辯申上ゲタ方ガ便利ダラウト思ヒマスカラ、唯今ハ大體三互デ一應申上マス

○森本駿君 大體ニ付イテ政府委員ノ御説明ガアリマシタ結果トシテ、私モ大體ノ御質問ヲ先ヅ先キニシタイト考ヘマス、此關稅定率法改正案ノ出テ、是ノ如ク改正セラレルト云フ政府ノ方針ハ、今ノ説明デ判明シマシタケレドモ、此改正案ト或ハ直接ノ關係アルヤ否ヤト云フコトハ明カナラヌノデアリマスケレドモ、丁度豫算ノ場合ニ於テ、政府ノ説明ニ依リマスト、明治四十四年ガ現行ノ協定稅率ノ變更ノ時期デアラカシテ、ソレマデニハ十分ノ關稅調查ヲスル必要アリト認メテ、關稅調查費ヲ二十九年度ニ於テモ要求セラレ、繼續費ニハナッテ居ラヌヤウニ私ハ思ヒマシタケレドモ、併シ之ハ繼續シテ調査ヲシテ往ク見込デアルト云フタメノ答辯ガ當時アリマシタ、而シテ此場合關稅定率ノ改正案ガ此處ニ提出セラレマシタガ、是ハ政府ガ豫算ニ要求セラレタル關稅調查ノコトニハ關係ナク、其前々先ヅ是ノ如キ改正案ガ出來タモノデアッテ、而シテ豫算ニ要求セラレ、調査ハ今後尙引續イテ調査セラレテ、協定稅率ノ期限ノ來ル時期マデ位ニハ、ソレガ完成スル見込ヲ以テ調査ヲ結了シ、而シテ更ニ又其時期ニ於テ改正ヲスルト云フ見込ヲ以テ、ソレマデノ是ハ改正案トシテ提出セラレタカ、アレト是トハ別デ、ソレガ出來タ時ニハ其時ト云フタメノコトデアルカ、其邊ヲ明カニ先ヅシテ置キタイト思フ

○政府委員若槻禮次郎君 唯今御尋ノアリマシタ一億圓餘リノ金額ヲ、關稅定率調查費トシテ豫算ヲ要求シテ、既ニ兩院ノ御協賛ヲ經テ居ル次第デアリマスガ、是ハ明治四十四年ニナリマスト、現行ノ條約ト云フモノ、改正ト云フコトノ出來ル時期ニナリマスト、其時ニ至レバ協定稅率ト云フ觀念ヲ離レテ、十分ナル關稅ノ政策モ立ッテ、稅率ヲ設ケルコトガ出來マスケレドモ、今日ノ處デハ、何シロ如何ナル關稅稅率ヲ作ッテモ、協定稅率ノ約束アル所ニ向ッテハ、是ヲ適用スルコトガ出來ヌ、ソレ故ニ是ハ協定稅率ガ此通リニアル以上ハ、此モノニ付イテハ、ドウモ斯ウ云フ稅率ヲ拵ヘタイガ、是トノ權衡上已ムヲ得ズ、此處ヲ止メナケレバナラヌト云フコトハ、今回提出シタモノハ、餘程アリマス、サウ云フ關係ニナッテ居リマスカラ、政府ノ考ヘハ、明治四十四年ノ時ニハ、十分調ベタ結果ニ依ッテ、最モ我國ニ適切ナル稅率ヲ作リタイト思ヒマス、ソレニ付イテハ今日カラ各種ノ生産ノ内地ノ狀況、外國ノ狀況、外國ノ内地トドウ云フ關係ガアルカ、交通上ドウ云フ關係ガアルカト云フコトヲ、十分調ベテ若シ外國ノ協定稅率ヲ結ブ必要ガアレバ、必ズ結ブトハ申シマセヌガ、併ナガラ協定稅率ガ、必ズシモ排斥スベキモノデモナイト思ヒマスカラ、必要ナラバドノ品ト、ドノ品ト交換ノ協定シタガ宜シイカト云フコトハ、十分ナ調査ヲシマセヌト、是ハ國家百年ノ利害ニ關係スルコトデアリマスカラ、

今日カラ調ベテ明治四十二三年位マデニハ、十分ニ調ベナケレバナラヌト云フコト、豫算ニ於テハ關稅定率調查費ヲ要求致シマシタ、而シテ今日此法律ヲ出シタノハ、ソナラソレマデ現行ノ儘デ進シテ往ッテ宜イカト云フト、先キ申上ゲタ如ク、現行ノ定率表ト云フモノハ、分類ガコッチヘ這入ルカ、ドッチヘ這入ルカト云フコトハ、隨分争ヒノアルコトデアッテ、又其間ニ稅率不權衡モ段々アリマス、ソレカラ現行法ニ於テハ、悉クトハ申シマセヌケレドモ、大體ノ主義ハ粗製品トカ、半製品トカ、精製品トカ、奢侈品トカ云フヤウナコトハ、大體ハ是ニ依ッテ稅率ヲ自ラ定メテ往クコトニナッテ居リマスガ、經濟上今日ノ現況デハ單ニソレダケノ觀念ヲ以テ、關稅ノ關係ヲ見ル譯ニ往キマセヌ、其以上尙内地ノ生産ノ狀況、外國ノ生産ノ狀況、或ハ内地ノ生産スルモノデ、外國ニ輸出スル狀況、或ハ外國カラ内地ニ事ヲ輸入シテ居ル狀況、竝ニ物ニ依レバ是ニ依ッテ歲入ヲ得ルコトモ、亦考ヘナケレバナラヌノデ、明治三十年ノ頃ニ考ヘラレタ、是ヨリ以外ニ今日ハ考ニ置カナケレバナラヌ、事項ガ生ジテ居ラウト思ヒマス、ソレヲ此處此處四五年間置クコトハ宜シクナイ、殊ニ先キニ申上ゲタ不權衡ト云フ處ヘ、特別稅デ以テ殆ド各品目ニ向ッテ、増率ガシテアリマスカラ、其増率ノ結果デ、益々不權衡ガ甚シクナッテ居ル、是ヲ今四五年置クコトハ宜シクナイ、今日ノ處デ先ヅ直シテ置ク、併ナガラ直シテ置クニシタコトガ、先キ申上ゲル如ク、此處デ十分調査ヲシテ、明治四十二年頃ニ至レバ、十分ナルモノヲ作ッテ、モウ一回改正シナケレバナラヌ、ソレマデノコト改正ガ必要デアルト云フコト……

○森本駿君 尙引續イテ御尋ヲシマス、今ノ御答辯中ニモ論及セラレテ居ルヤウニ記憶ヲシマスガ、協定稅率ナルモノ——今度ノ改正案ニハ協定稅率ニ屬シテ居ルモノヲモ、改正ヲ加ヘラレテ多少ノ増減ガ稅率ニ加ハッテ居ルヤウニ認メラレルノデスケレドモ、甚シキ權衡ヲ失シナイヤウニ斟酌ヲ取ラレタカモ知レマセヌガ、併シ他ノ一方ニ於テハ、協定稅率ノ如何ニ拘ラズ、改正ヲシテ適當ト認メラレタモノニ増減ヲ加ヘルト云フ、方針ヲ取ッタルノデアリマスカ、如何デス

○政府委員若槻禮次郎君 現今協定シテ居ルモノモ、適當デアラウト云フ稅率ニシテアリマス、併ナガラ協定シナイモノニ付イテハ、是モ矢張成ルベク適當デアラウト云フ方ハ調ベマシタガ、是ハ關稅ノ斯ウ直シテモ、其實協定稅率ノ品デ、原料ニナルモノガ大變ニ騰リマスト、直チニ不權衡ニナリマスカラ、モウ少シ低ク致サナケレバナラヌモノハ、斟酌ヲ他ノ方面ニ加ヘタノモアリマス、モウチット國定ハ騰ガッテ居ルガ、事實協定ハ適用ヲシナイ、然ル上今日ハ協定ガナイト云ッテ、サウ騰ゲラレタト云フコトカラ斟酌ヲ加ヘテ居ルガ、ソレハイヅレ大改正ヲ待チマセヌト、本當ノ權衡ヲ得ルト云フコトハ出來マスマイ

○森本駿君 尙進シテ御尋ヲ致シマスガ、是マデ關稅定率ノ方ニ無カッタ條件デ、特ニ今度ノ改正案ニ注目スベキコトハ、四條五條ノ規定デアラウト思フ、政府ハ大體此關稅ヲ改正ナサルニ付イテ、稅率ノ立方ノ本體ハ、粗製品、半製品、奢侈品等二分ツコトヲ主トシタ意見デアッタヤウニ承知ヲ致シマスガ、四條五條ノ規定、即チ「第四條本邦ノ船舶又ハ生産品ニ對シ他國ノ船舶又ハ生産品ヨリモ不利益ナル取扱ヲ爲ス國ノ生産品ニ對シハ勅令ヲ以テ物品ヲ指定シ有稅品ニハ本法ニ定メタル稅率ト同額以下ノ附加稅ヲ課シ無稅品ニハ從價五割以下ノ輸入稅ヲ賦課スルコトヲ得」ト云フノハ、

獎勵金ヲ與ヘルト云フノガ第五條ノ規定デアル、此方針ハ大體カラ云フト、從來日本ノ採テ方針ト、全ク方針ガ變ハルモノト認メマス、即チ半製品、無税品ト云フ分類ノ區別ヨリハ、關稅政策トシテ以テ今日世間デヤカマシク議論ニナツテ居ルところノ「レタリエーション」報復主義ヲ執ラレタウニモ見ヘル、此點ハ矢張從來ノ方針トハ、一轉シテ明示シテ居ルヤウナ必要ナ場合ニ、進シテ政府ハ「レタリエーション」ヲ實行スルノガ、時期ニ最モ適シタモノデアルト云フ考ヘデ、大體上斯ウ云フ方針ヲ加ヘラレタモノカ、或ハ未製品、半製品ト區別スル必要上カラシテ、割出シテ是ダケニシナケレバナラヌト云フ結果ガ出來タノデアルカ、其方針ヲ必要ト認メラレタカ、如何ト云フコトヲ聞キタイ

○政府委員若槻禮次郎君 其粗製品、半製品、奢侈品ト云フ主義デ、今回ノ稅率ヲ編シテ云フヤウニ御聽取リニナツタカモ知リマセヌガ、ソレハ私共ノ說明ハ、現行ノ關稅法ハ稍、其方針ヲ執テ居リマス——サウノミトハ申シマセヌガ、サウ云フヤウナ方針ヲ執テ出來テ居ル、ソレノミデハゴザイマセンガ、今度ノハ今日ノ時勢ハソレノミデハナイ、尙進シテ居ルカラ、尙其上ニ内地ノ製品ノ模倣トカ、外國ノ製品ノ模倣、外國ノ品物、内地ノ品物等ノ取扱モ考ヘナケレバナリマセヌノミナラズ、外國ヨリ這入ッテ參ルモノ、更ニ輸出物ト云フヤウナコトモ考ヘナケレバナリマセヌ、是ハ當ニ產業ノ問題ノミナラズ、財政上收入ヲ取ッテ往々モ宜シト云フヤウナ具合ニ、明治三十年ニ改正セラレタモノヨリ、モット外ノ點ニマデ改正ヲ及ボシテ、調ベルコトノ必要ガアル時代ニナツテ居ルカラ、今回ハ其頭ヲ以テ調ベマシタ、大藏省デハ物品ニ一々當欲メテアリマス、今專ラ御問ニナツタノハ、四條ハ如何ト云フ御尋デアリマシタガ、四條ハ強テ日本ハ報復主義ニシタノゴザイマセヌケレドモ、外國カラ日本ノ品物ニ對シテ、甚シク不利益ノ待遇ヲ致ストキニ於テ、日本ハ何等ノコトヲセヌデモ宜イト云フ程ニ考ヘテ居リマセヌデモ宜カラウ、強イテ報復主義ヲ執テハ居リマセヌガ、四條モ同シヤウナ譯デアアル、日本政府ハ敢テ報復主義ヲ執ッタタメニ、設ケタノデハナイト云フコトヲ明言シテ置キマス

○森本駿君 其方針ハ能ク分リマシタガ、有税品ニ對シテハ本法ニ於ケル定メタル「稅率ト同類以下ノ附加稅ヲ課シ無税品ニハ從價五割以下ノ輸入稅ヲ賦課スルコトヲ得」ト云フヤウナ規則ヲ以テ、其事ヲ明言セラレルト云フコトニナリマスガ、勅令ニ依リマスカ、或ハ稅關ノ適宜ニ指定サスルコトニナリマスカ、此明文デハチヨット其形式ガ分リ兼ネマス、ドウ云フ方針ヲ執ラレマスカ

○政府委員若槻禮次郎君 四條五條トモ總テ稅關ノ任意ニハサセマセヌ、勅令デ物品ヲ指定シテ、總テ勅令デ定メマス

○森本駿君 然ラハ勅令ノコトニ付イテ、戻稅ハ命令ノ定ムル所ニ依ルト云フコトガ書イデアリマスガ、其命令ノ定ムル所ニ依ルト云フコトノ、明カセナイト云フ理由ヲ聞キタイト云フコトハ、併セテ戻稅ノコトヲ申シマシタカラ、九條ノ戻稅ノ規定、此關稅定率法デ定メラレタ以上ハ、從來ノ如ク一方ニ於テ、戻稅ノ法律ヲ立テルト云フ方針ヲ執ッテ、此一般ノ規則デ戻稅ヲ定ムルト云フ方針ヲ今度執レバ、命令デ定ムルト云フコトニナリマス、戻稅ヲヤルト云フコトハ、一般ニヤデアルトコロノ戻稅ヲ廢スルト云フ場合モ、命令デ是ヲ廢スルト云フ方針カ、此コトヲ聞キタイ

○政府委員若槻禮次郎君 第九條ト四條、五條ト較ベテ御尋デアリマスガ、四條ト

五條トハ餘程重大ナコトデアリマス、是ハ必ズ勅令デナケレバ、他ノ命令デ出來ナイト云フコトヲ示スタメニ、特ニ勅令デ斷リマシタ、第九條ハ事實勅令デモ省令デモ致サヌ積リデアリマスガ、四條ト五條トハ特ニ大切ノコト故ニ、チャント勅令ヲ以テスルト、斯様ウニ致シマシタ、ソレカラ九條ノ是マデ輸入品デ戻稅ヲシテ居ルモノハ、砂糖アルノミデ、輸入原料品ヲ製造シテ、戻稅ヲシテ居ルノハ砂糖デアリマスガ、砂糖ノ方ハ内地デ消費スルモノデモ、戻稅ヲシテ居リマス、所ガ政府ノ考ヘマシタところデハ、戻稅ヲスルハ是ハ輸出セラル、物品デ、内地デ消費セラレナイ、向フカラ原料ヲ取ッテ造ッテ輸出スルト云フ場合ニ、初メテ戻稅ヲシテ往々モノニナルカラ、其モノハ輸出獎勵ヲスルタメデ、其規程ハ現行法デハナイカラ、今回入レテ置クノデアアル、斯ウ云フコトニナツテ參ルノデゴザイマス、命令デ定メタ以上ハ、命令デ變ヘルコトハ無論必要ト思ヒマス

○山本梯次郎君 段々政府委員カラノ御說明ニ依リマスルト、此關稅定率法案ハ、獨リ財政上ノ收入ノ見地カラノミデナク、内地ノ生産ヲ發達セシメヤウト云フトコロノ所謂獎勵ノ意味ヲモ含シテ、立案サレタモノ、ヤウニ承ハリマシタガ、サウ致シマスルト、此稅率ノ如キハ、計算上はナラバ十分ニ内地ノ生産ヲ保護スルニ足ラデアラウト云フ、其計數ノ基礎ノ上カラシテ、算出ラ致シマシテ、此立案ヲシテアルノデアアラウト考ヘルノデアリマスルガ、果シテサウナツテ居リマスルカ、ソレトモ之ヲ保護スルニハ、是以上ノ程度マデノ稅率ヲ掛ケナケレバナラヌ、去リナガラ斯ク々々ノ事情ガアルノデ、先ヅ此位ニ止メテ置クノデアアル、即チ此法ノ精神ハ是デハ十分デハナイガ、他ノ事情アルガタメニ、是等デ止メテ置カナケレバナラヌト、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデアアルカ、若シ實際サウ云フ事情ガアリマシタスト、ソレハ一々各項ニ付イテ伺ハナケレバナラヌガ、細カナコトデゴザイマスカラ、其部類々々ニ至リマシテ、御尋ラ致シマスルガ、概括シテ御答ガ出來ナラバ、事實斯ウ云フ事情ガ重モニ其間ニアッテ十分ニ思フ存分ケノ稅ヲ掛ケルコトガ出來ナイノデアアルカト云フコトヲ承ハリタイ、ソレカラシテモウ一ツ御尋ラ致シテ置キタイト存シマスルトハ、生産ニ用井ル原料ニ對シテ、又ハ原料ニ使用シマスル機械ナドヲ、外國カラ輸入シテ來マス場合ニ於テ、此稅表ニ依リマスルト云フト、イロ／＼ノ稅ガ掛カデ居ルヤウデゴザイマスルガ、是ノ如キモノハ成ルベク稅ヲ極度ニ低クシ、若クハ無稅ニスルト云フ方針ガ、生産ノ保護ト云フ上カラハ一番適當ノモノト思ヒマスガ、ソコアタリノ點ハ如何ナモノデゴザイマスカ、又食料品ニ付キマシテモ、矢張同ジコトデゴザイマシテ、是ナドモ一般人ノ生計ニ及ボス影響ハ少ナカラヌモノデゴザイマスガ、生産上ニ於テモ、輸入食料品、例ヘバ麥トカ小麥トカ云フヤウナモノニ、課稅スルト云フコトハシナイシ、又出來マスモノデナイヤウニ思ヒマス、十分ニ内地デ出來ナイモノニ稅ヲ掛ケルト云フコトニナリマスルト、幾ラカ生産上ニモ影響ヲ及ボスモノノヤウデゴザイマスガ、ソレニモ矢張幾ラカ稅ガ掛ッテ居ルヤウニ見エマス、是ニ付イテハドウ云フヤウナ御考デゴザイマスルカ、ソレカラモウ一ツ此第五條デゴザイマス、輸出獎勵云々ト云フコトニ付キマシテ、御尋ラ致シタイノハ、元來此直接ニ輸出獎勵金トシテ、直グニ現金ヲ以テ交付スル 獎勵金トシテ交付スル場合ニ於キマシテハ、無論是ハ純然タル輸出獎勵金ニ相違ゴザイマセヌガ、外國デ此イロ／＼ヤッテ居リマスル實際ヲ見マスルト、實際公然ト輸出獎勵金ト云フコトニナツテ居ラズシテ——表面公然ト獎勵金ト云フコトニナツテ居リマセヌデ、實際ノ上ニ獎勵金トナツ

テ居ルモノガ、イロ／＼ノ形ニ於テ現ハレテ居リマスヤウニ思ヒマス、ソレデ第五條ノ輸出獎勵金ト云フ意味ハ、詰リ直接ニ公然ト輸出獎勵金ト云フ名義ニテ交付スルノデナク、隠レタ輸出獎勵金ノ意味ヲ含ンデ居ルカドウカト云フコトヲ御尋シタイ、ソコデ隠レタ輸出獎勵金ト云フ中ニ、又認メテ之ヲ獎勵スル一事實上ノ獎勵金ト云フモノ、中ニハ、大ニ疑フ屬スベキモノガアルヤウデゴザイマス、ソレハ詰リ例ヘバ小麥ナドカ英吉利ナドカラ、獨逸マデモ這入ッデ參リマスルコトニ付、其際ニ關稅掛カル、若干ノ關稅掛カル、サウスルト其小麥ト云フモノガ再ビ獨逸カラ輸出サレル場合ニハ、戻稅ヲヤルト云フコトニナッテ居ルガ、是ハ輸入ノ際ニ課シタダケノ輸入稅ニ對シテ、政府カラ受取ヲ出シテ置イテ、更ニ其小麥ガ再ビ輸出サレル場合ニ於テハ、其受取ニ對シテ戻稅ヲ受クルコトガ出來ルト云フヤウナコトデアリマスレバ、是ハ前ニ拂ッタモノヲ更ニ後カラシテ受取ルノデスカラ、別段其間ニ差ハ生ジテ居ラナイヤウデアリマスルガ、併シ其小麥ト云フモノガ、必ズ這入ッタ小麥ガ再ビ出ルト云フ證明ハ必要デナイト云フコトニナッテ居ルト云フコトニシマスルト、ドノ小麥デモ輸出シテ、ソレニ對シテ戻稅ヲ受ケルコトガ出來ル、サウシマセヌト獨逸ナリ、獨逸ノ内地デ生産シタ小麥ナリ、米、關稅ヲ取ラレナイ、輸入稅ヲ賦課サレナイモノヲ輸出スルト、ソレニ對シテ他ノ輸入ノ際ニ課セラレタコトコロノ戻稅ヲ受クルト云フコトニナル、斯ウナリマスルト、矢張一種ノ獎勵金ニナルヤウニナラデゴザイマス、ソレカラシテ又例ヘバ油ナリ、毛織物ナドデモ、油ノ原料品ナリ、或ハ毛織物ノ原料品、即チ毛ナリト云フモノヲ輸入シマシテ、サウシテソレニ對シテ輸入ノ際ニ稅掛カル、更ニソレヲ毛織物ナリ、或ハ油ナリト云フモノニ拵ヘテ、輸出スル場合ニ、原料品ニ對スル戻稅ヲ貰フト云フ場合ニ、其戻稅ノ割合ガ實際前ノ稅率ノ基礎トナッテ居ル割合ヨリハ、割合ガ餘程宜イト云フコトニナリマスルト、矢張り實際拂ッタコトコロノ輸入稅ヨリハ、出ル時ノ戻稅ガ餘計ニナリマス、又輸入稅ノ場合デナク、内地ノ場合デモ酒精ナドノ如キハ、内地稅課セラレテ居ル、其稅率ハ例ヘバ一石カラシテ、酒精ガ五斗ナラ五斗取レルモノデアルト云フコトニナッテ居リマスガ、實際ノ上ニハソレヨリ以上ノ酒精ガ出ルトシマスルト、サウスルト實際矢張輸出シマスル際ニ、戻稅ヲ貰フ時ニハ、戻稅ハ固ヨリ稅ノ一石ニ對スル五斗ト云フ戻稅デアリマスカラ、ソレヨリ實際ノトコロハ、一石カラ六斗ナリ七斗ナリ取レルトスルト、其斗ナリ二斗ナリト云フモノハ、隱レタ獎勵金ニナッテ居ル、斯ウ云フ類ガ澤山アルト思ヒマスガ、是等ノモノヲモ此第五條ノ中ニ含メラレテ居ルノデスカ、若シ含メラレテ居ラナイト、五條ハ有名無實ノモノニナル虞ガアル、公然ト輸出獎勵金トシテ交付シテ居ル場合ハ、極メテ實際ノ場合ニ少ナイガ、寧ろ隱レタル、獎勵金ガ餘計ニアルト思フ、サウスルト、是ハ成レベク含ンデ居ルヤウニシテ置キタイト思フ、若シ又含ンデ居ルトスルト、獎勵金ヲ受クル物品ハ、獎勵金ト同様ノ附加稅課スルコトニナッテ居リマスガ、是ハドウシテ算出スルコトニナッテ居リマスガ、ドウカ御說明ヲ願ヒマス

○政府委員若槻禮次郎君 稅率ヲ按ズルニ内地ノ生産ヲ保護スルニ付イテ、是ダケノモノヲヤナケレバ保護ニナラヌト云フ勘定ヲ立テ、ヤッタカト云フ御話デスガ、大體ニ於テ内地ノ生産ノ狀況ヲ考ヘテ、立案シテアリマスガ、一々ノ物品ニ付イテ、製造費ヲ考ヘテ、其製造費カラ割出シテ、保護稅ヲ案ジタノデハアリマセヌガ、此様ニ稅率ヲ改正致シマスレバ、自カラ内地ノ産業ノタメニ都合好クナルト云フコトニナッテ居リマスガ、

強イテ保護稅ヲ茲ニ設クルタメニ御尋ノ率ヲソレニ依ッテ按ジタノデアリマセヌ、此稅率ニ依ッテ申セバ、内地ノ生産品ガ外國カラ輸入サル、モノヨリ割合ニ異クナルト云フ程度ニ置クコトニ附イテ居リマスガ、強イテ一々計算ヲシテ保護稅ヲ設ケタノデアリマセヌ、ソレカラ第一ハ食料品ノ稅ノ上ツタコトヲ御尋ネニナリマシタガ、幾ラカ消費稅のニ歲入ヲ得ラル、モノニ付イテ、歲入ヲ取ルコトニシタノデ、食料ハ内地ノ人ニ皆消費セラ、ナラバ、之ニ向ッテ歲入ヲ取ルト云フコトハ、國庫ガ歲入ヲ得ル手段デアル、是ハ生産ノ問題デアク、歲入ヲ得ル法トシテ、差支ナイコトデアル、斯ウ云フ目的デ食料品ノ稅ガ高クナッテ居ルノデアリマス、併シ之ニ依ッテ内地ノ生産者ノ勞銀ニマデ影響スルト云フヤウナコトハナイ、サリナガラ其程度ハ考ヘテ居リマスガ、是ハ併シ歲入ノ資源トスル途ヲ講ジタノデアリマス、ソレカラ機械ノ如キハ原料ノヤウナモノデアルカラ、免稅ニシテ宜シト云フ御論デスガ、政府ハ機械ヲ以テ直ニ原料ト見ルコトハ出來マセヌ、又機械モ内地ニ於テ製造シ得ルモノ、又製造シ得ル見込アルモノガアリマスカラ、必シモ機械ヲ無稅ニスルヤウナ一律ノコトハ出來マセヌカラ、茲ニ按ジタヤウナ率ガ相當デアラウト思ヒマシテ、斯様ニ致シタノデアリマス、ソレカラ第五條ノ獎勵金ハ外國ガ積極的ニ獎勵金ヲ與ヘルモノヲ指シタノデスガ、併シ獎勵金ト名付ケテ居ルモノノミヲ云フノデナクシテ名ハ獎勵金ト付イテナクモ、事實上獎勵金デアラナラバ、矢張含ムノデスガ戻稅マデハ含ンデ居ラナイ考デアリマス

○山本悌二郎君 サウスルト今ノ獎勵金ニ付イテデスガ、例ヘバ伊太利ノ酒精ノ事實上ノ獎勵金ハ、公然ト獎勵金トシテ吳レテ居ラナイガ、目減ト云フモノダケヲ加減シテヤルト云フ意味ニ於テ、丁度事實ソレダケノ目減ハシナイニモ拘ハラズ、ソレニ相當以上ノ稅ヲ免除スル、其免除シタモノダケハ、事實ニ於テ減ラナイガ故ニ、即チ其金額ダケ事實ノ獎勵金トナッテ居ルト云フヤウナモノガアリマスヤウデス、ソレカラ砂糖ノ如キモ同ジヤウナ姿ニ於テ、砂糖大根百斤カラ砂糖ガ幾ラ取レルト云フ標準ヲ立テ、品物ニナッテ出ル際ニ、ソレダケ稅ヲ戻シテヤル、併シ政府ガ計算シテ居ル止リヨリハ、砂糖業者ガ餘計止リヲ取ルカラ、餘計ノ止リダケノモノニ對シテハ、却テ先キニ稅ヲ取ッテ居ラナイモノヲ戻シテ居ル、是ガ一ノ獎勵トナッテ居ルト云フヤウナ事實ガアリマス、ソレナドハ今日砂糖業ニ對シテハ存シテ居ラナイヤウデスガ、サウ云フモノハ將來行ハナイトモ限リマセヌ、間接ノ獎勵金ハ今日マデノ歷史上、其國ノ品物ノ生産ヲ發達ヲ助ケルト同時ニ、他國ニ於テハ、即チ輸入サレル國ニ取ッテハ、非常ニ影響ヲ被ムタ沿革ガアリマス、ソレデアリマスカラ、直接ノ表面ニ現ハレタル、看板ヲ掛ケタル輸出獎勵金ノミデナクシテ、事實上ノ獎勵金ヲ見テ戴クト云フコトガ、此法案ニ魂ヲ入レル所以ト私共ハ考ヘルノデスガ、今御話申シタ酒精ノ目減リ、及油、砂糖ニ對スル獎勵金ノ如キハ是ハ矢張り獎勵金ト認メニナラヌヤウナ御考デスカ

○政府委員若槻禮次郎君 精密ニ御話ノ如ク極メテシモフト、實際ニ活用ガ出來ナイト思ヒマスガ、唯今御述ベニナルヤウナ細カイ微妙ニ互タモノヲ、ソレト同額ノモノヲ勅令課稅スルヤウナコトハ出來マセヌ、今例ニ御舉ゲニナッタヤウナコトハ是ハ仕方ガナイト思ヒマス

○東尾平太郎君 私ハ極ク大體ニ付イテ承リタイ現行ノ關稅定率ハ明治三十年ノ

條約改正ノ際ニ於テ、政府ガ金ヲ餘計取リタイメニ改正シタ條約デアリマシタガ、明治三十年ノ改正デ法權ハ我國ニ恢復シタノデアリマス、ケレドモ稅權ハ現行ノ協定稅律ヲ改正シタケレバ恢復ハ出來ナイノデアリマスガ、然ルニ戰後我國ニ於テハ、日英同盟モ出來、一等國ノ班ニ這入り、列國ニハ大使館ヲ置クヤウニナリマシタガ、政府ハ此際關稅ニ關スル條約ヲ改正スル意志ガアルノデアルカ、明治四十年ニ成ルヲ待タズシテ、今カラシテ條約改正モ出來ルト云フ說モアル、又困難デアルト云フ說モアリマスガ、我國ハ唯一等國ノ仲間ニ入ッタト云フ空威張リシテ、二等國ト同ジヤウナ有様ニ居ルノハ残念デアリマス、ソレデ政府ハ四十年マデハ、改正談判ヲ開始スルコトハ出來ナイ今日ニ於テ、列國ニ條約改正ノ談判ヲシテ、稅權恢復ヲスルノ意思ガアルヤ否ヤ、大體ニ於テ大臣ニ承リタイト思ヒマスガ、大臣ガ出席ニナッテ居リマセヌガ、政府ハ三十年ノ條約ヲ墨守シテ、四十年マデ屈辱ノ條約ノ下ニ、盲從スルノ意思ナラヤ否ヤ

○政府委員若槻禮次郎君 現行ノ協定稅率ハ、品物ハ日本ニ入ル物ニ付イテ、結ンデアリマスケレドモ、最惠國條款ニ依ッテ、外國ガ帝國ト協定スル物ニ、日本モ均霑シテ居リマスカラ、私ハ今日ノ現行法ノ下ニ於テ、日本ガ劣等ノ地位ニ置カレデアルトハ信ジマセヌ、併ナガラ現在ノ協定稅率ニ依ッテ、日本ガ不利益ニナッテ居ルヤ否ヤト云フコトハ、或ハドウモ十分利益デナイヤウニ考ヘマス、ソコデ政府ノ方デハ、茲ニ此條約ヲ變ズルコトガ出來ルト思フカト云フ御尋ナラバ、條約ガ有ル間ハ、是ニ違フコトハ出來ヌト御答スル外ナイ、是ヲ更ヘル意思ガ有ルカト云フ御尋ナラバ、是ハ外務ノ當局者カラ御答申シタ方ガ宜イノデアリマス

○東尾平太郎君 大臣ノ出席ヲ願ヒタイデス
○藤金作君 唯今協定稅率ノ國ト、協定ナクシテ國定稅率ノ施行ノ出來ル國トノ御調ガアリマスカ

○政府委員若槻禮次郎君 日本ト協定稅率ノ約束ノアル國ハ、英吉利ト獨逸ト佛蘭西、ソレダケデアリマス

○福島宜三君 私ハ此參考書ノ上ニ付イテ伺ヒタイノデアリマスガ、此稅率ノ問題ハ、理論上ノ議論ヨリ實際ノ上カラ研究シタケレバナラヌモノデアリマスカラ、斯ウ云フ物ニ付イテ、今マデ政府ハ商業會議所デアルトカ、其他實業上ノ團體等ニ、諮問デモセラレタコトガアリマセウカ、若シ諮問デモセラレタコトガアリトスレバ、何カ具體的ノ答申デモアッタコトガアリマスカ、若シ諮問セラレタナラバ、サウ云フ意味デ今マデ建議デモ有リマスカサウ云フ物ガアレバ參考書トシテ頂戴スルコトガ出來マスカ、出來ルナラバサウ云フ物ヲ戴キタイ

○政府委員若槻禮次郎君 關稅定率ヲ定メマスコトニ付イテ、特ニ諮問シタコトハアリマセヌガ、併ナガラ關稅定率ノコトニ付イテ、商業會議所ナドニ意見ヲ發表シタコトガアリマス、大藏省ハ常ニ是ニ意見ヲ留メテ、考ノ中ニ加ヘテ居リマス、今回ノ改正案ナドモ、是ニ基イタノデアリマセヌガ、サウ云フ意見ノ有ルトコロニ付イテハ、當局者ニ於テハ常ニ考ヘテ居ルコトデアリマス

○荻野芳藏君 大體ノ上ニ付イテノ質問デアリマスガ、是マデノ關稅定率法中ニハ、六箇月以前ノ豫告ト云フコトガアリマシテ、今度ハソレガ取ッデアルヤウデ、勅令ヲ以テ云々

トアル、サウスルト六箇月以前ノ豫告ト云フコトハ、廢メト云フコトデアッテ、直グニ實行ノ出來ル、斯ウ云フコトニナッテ居ルノデアリマスガ、ソレカラ我國ノ特種ノ物產ヲ、相手國ニ輸入スル上ニ於テ、又相手國ノ特種ノ物產ヲ我國ニ輸入スル上ニ於テ、互ニ同一ノ如キ事情ヲ有シテ居リマシテ、其間ニ雙務的具形ノ條約ニ依ッテ、特別ノ協定稅率ヲ設ケラレテ居ルト云フコトハ、最近ノ貿易ノ政策ノ上ニ於テ見ルヤウデアリマスガ、此法律ノ上ニ於テ第四條、第五條等ガ有ルニ、尙其上ニ特別ノ協定稅率ヲヤルト云フコトハ、是ニ在ルノデアリマセウカ、ドウデセウカ、モウ一ツハ關稅ノ收入ニ依ッテ國庫ノ收入ノ増加ヲ圖ルト云フコトハ、無論此關稅ニ付イテノ目的ノ最大要旨ノ一デアリマスガ、是ニ付キマシテ大體此率ヲ御定メニナルニ於テ、例ヘバ亞米利加ガ五割以上、佛蘭西ハ三割以上デアルトカ、獨乙ハ一割二三分以上デアルトカ云フコトニ定メル、サウ云フ事ニ付イテハ、大體ノ何カ目安ヲ御定メニナッテ、割當テラル、ト云フ風ニシタノデアルカ、又ハ其ノ物種類科目ニ依ッテ、追フテ往ッテ斯ウ云フ風ノ物ニナッテデアリマスガ、關稅ニ依ッテ國庫ノ收入ヲ圖ルニ居ルト云フコトハ、亞米利加ナリ、歐羅巴邊リノ大キナ國デハ、收入ノ殆ド一獨乙如キハ殆ド四分の一ヲ占メテ居ルコトニナッテ居リマスカラ、是ハ漸次サウ云フ風ニヤッテ往キタイモノト私等モ思ッテ居リマスガ、政府ハ此點ニ付イテ大體ノ目安ヲドウ云フ風ニ割合ヲ御立ニナッテ居リマスガ、ソレヲ伺ヒタイ、ソレニ付イテ此參考書ノ中ニ、今度ノ改正案ニ依ッテ得ルコトノ收入ノ明細ガ出テ居リマスガ、更ニ協定稅率デモ無クナリマシタ後ニ於テハ、收入ハドレ程ニナルノデアルカ、御分リニナッテナラバ伺ッテ見タイモウ一ツ御尋シタイハ、今政府委員ノ大體ノ說明ノ中ニゴザイマス、分類ヲ別ケル即チ科目ヲ細カク別ケルト云フコト、私ハ科目ヲ細カク別ケタト云フコトハ、頗ル爭ヒヲ無クスルト云フコトデ、大イニ良イコトト考ヘマスガ、更ニ其筆法ヲ以テ考ヘマス、科目ノ別ケ方ガ餘程細カイトコロガアル、紙ノ如キハ隨分細カク御別ケニナッテ居ルケレドモ、織物ノ如キ、ソレカラ綿織絲ノ如キモノハマルデ御分ケニナッテ居ラナイ、ソレデ細カイトハ此分類ニナッテ申シマスガ、大體ノ方針ニ付イテ申スト、一ツ例ヲ申スト、例ヘバ此綿織絲ノ如キモノデモ、二ツニホカ分ケテナイ、所デ綿織絲ト云フヤツハ、御承知ノ如ク、六手、八手、或ハ十六手、二十手、三十手、五十手、六十手、百二十番手位マデヤルヤウニナッテ居ル、尤モ此二ツニ分ケテアル内デモ、六十番以上ノ瓦斯絲ノヤウナモノニ至ッテハ、是デ分ルヤウニナルノデゴザイマセウカ、此二ツノ分方ト云フニ至ッテハ、誠ニ少ナイコトデアル、百番内外カラ上ハ五百番位マデアル、ソレガズツト此三十番、五十番、百番ト云フ風ニ階級ガ分ッテ、ソレダケノ差ガアル、其モノヲ二ツ位ニ分ッテ、シマフト云フコトハ、今ノ御話ト餘程話ノ趣意ガ違ヒマス、此分類ヲ分ケテ——科目ヲ分ケテサウシテ苦情ヲ免カルコトニシタト云フコトニ付キマシテ、御趣意ノ御話ト大分ニ矛盾シテ居ルヤウニ思ヒマスガ、其點ニ付イテ御尋シテ見タイト思フノデアリマス、先ッ澤山アリマスケレドモ、チヨット是ダケ御尋シシテ置キマス

○政府委員若槻禮次郎君 現行法ニ依ッテ見ルト、此關稅稅率ノ改正ハ、六箇月前ニ公布スルト云フコトガ書イテアリマス通、是ハ法律ヲ規定ヲ要セヌコトデ、ソレガヤリタイナラバ、サウヤッテ宜シイ、ソコハ其關稅法ヲ制定シタ時ニ、其施行規則ガ定マレバ宜シイノデアリマスカラ、ソコデ今度ハ省キマシタデス、但シ日獨條約ノ存シテ居ル限

リ、日本政府ト云フモノハ、關稅率ノ改正ニ付イテハ、六箇月ノ期間ヲ置カケレバ出來スト云フ義務ヲ以テ居ルノデアリマス、當分ノ間立法上其義務ハ存シテ置カケレバナルマイト思ヒマスケレドモ、國法ノ上ニ於テサウ云フ條文ヲ書イテ置ク必要ハ無イト云フノデ、今回ハ創リマシタ、ソレカラ互惠條約ノ御尋ゴザイマシタガ、ソレハデゴザイマス、先程申上ゲタ如ク、協定稅率ト云フモノハ、必ズシモ排斥スベキモノデナイト申上ゲタノハ、即チ其處デゴザイマス、日本ノ利益ト外國ノ利益ト相一致シテソレデ協定シタナラバ、協定稅率ト見テ宜シカラウト思ヒマス、ソレハ立法問題デハナイノデアリマス、ソレハ條約ノ問題デアリマシテ、而モ其事ハ明治四十四年ノ條約ノ改正ノ時ニハデス、餘程考ヘナケレバナラヌ、ソレ故ニ今日カラ關稅率ノ調查費ヲ御協贊ヲ經テ置イテ、ソコカラ邊ハ果シテソレガ利益デアルカ、果シテソレガ利益デナイト云フコトヲ調ベナケレバナラヌ、ヤル方ガ利益デアルト見レバ、日本ノ利益ト對手方ノ利益ト匹敵スルヤ否ヤ、對手方ノ利益トノミ匹敵シテモ、他ノ外國ノコトヲ能ク考ヘナケレバナラヌ、ソレカラ均霑シテ見ルト、矢張日本ノ國ノ不利益ニナルヤウナコトニナルコトモアリマスカラ、サウ云フ點ハナカノ一朝ニハ出來マセヌノデ、是ガ今後兩三年ハ政府ハ十分調査シテ、適當ナ法案ヲ作ラナケレバナラヌ點デアラウト思フ、併シ立法ノ問題デゴザイマセヌカラ、關稅稅率ニハ其事ハハチットモ關係ナイコトニナリマス、ソレカラ分類ヲ分ツ上ニ於テ、一體ドウ云フ頭デモッテ、此度改正案ハ立案ニナツタカト云フコトノ御尋ゴザイマスガ、大體ニ於テ私共ノ見ル所デハ、關稅率ハ日本ハ今少シ上ツデモ宜カラウ、外國ノ狀況ヲ考ヘテ見ルト云フト、隨分外國政府ト云フモノハ、關稅歲入ハ國庫歲入ノ大ナル部分ヲ占メテ居ルノデアリマスカラ、其割合カラ云フデ見ルト、日本ハモット關稅歲入ヲ取ツデモ宜カラウ、其割合カラ言ヒマシテモ、日本ハ戰後イロノ經營ヲ要スル場合ニ於テ、國庫ノ歲入ノ増加致シマス時ト云フモノハ、財政上便宜ノコトデアリマスカラ、他ノ國ノ例ヲ追テ見レバ今、少シ殖ヤシテモ宜カラウ、斯ウ云フ頭ヲ以テ今回ハ調ベタノデアリマスガ、サウシテ今度ノ調ベハ先ツ今後稅ノ無クナツタモノ、無稅ニシタモノモ可ナリアリマスガ、サウ云フヤウナ無稅ノモノカラ、ソレカラ極メテ、少數ナモノノ五分稅ト云フモノモアリマス、ソレカラ一割、二割、三割、四割、五割、六割、マア大體ソレ位ニマデハ取ツデ宜カラウ、尤モ其内デデス、特ニ外國トノ關係ヤ何カニ於テ、十割ト云フ率ニシテアルモノモアリマスガ、大體ノトコロハ、唯今申シタヤウナトコロデゴザイマス、而モ其内普通ノモノノ稅率ハ、先ヅ是ハ收入ヲ得ル目的カラ、三割位ニ立テ、宜カラウ、斯ウ土臺ヲ一ツ置イテ、ソレカラ原料品ナラ原料品ニ付イテモ、是ハ内地ニ稍アル物デカラ、五分ニシテ置カウ、又ソレハ贅澤ナ物デアルカラ、六割位取ツデモ宜シイ、或ハ贅澤品トハ言ハレヌケレドモ、裝飾品カ何カデッテ、内地ニモ稍、出來ル物デアルカラ、五割位取ツデ宜カラウ、四割デモ宜カラウト云フ斟酌ハシタノデゴザイマスガ、普通ノ物ハ三割トシテ宜カラウト云フノガ、即チ着眼點デアリマス、又ハ大體ヲ申シテ見レバ、内地ノ消費稅トノ關係ヲ取ツデ見ルト、例ヘバ砂糖ノ消費稅トカ、又ハ酒ヤ煙草ナドト云フ稅ノ有ル物モアル、サウ云フヤウナモノニ付イテハ、其關係ヲ見テ輸入稅ト云フモノハ、ズツ増シテ取ラナケレバナラヌト云フコトガアルカラ、内地消費稅トノ關係モ見ナケレバナラヌ、ソレカラ國庫ノ歲入ヲ得ルト云フ側カラシテ、幾分餘計ニ稅率ヲ

課ケテ、歲入ヲ得タ方ガ宜シイト云フ考デ課ケタモノモアル、一例ヲ舉ゲテ見ルト云フト、石油ナドハ五割取ルコトニナツテ居リマス、人ニ依ツテハ必要品ト云フトコロカラ、稅ヲ下ゲル方ガ宜イト云フ論モ出ルカモ知レマセヌケレドモ、ソレハ必要品デアラウケレドモ、國民一般ニ費消スルモノデ、是カラ考テ見レバ、負擔ガ一般ニ且ツテ見レバ、國庫ノ歲入ノ上デヤ、消費稅トシテ宜カラウト云フ考カラ、稅ガ高クナツタ歲入ヲ得ル目的カラ、是ハ斟酌シテ居ル、或ハ製造ノ程度、是ハ製造品デアル、原料品デアルト云フモノ、製造ノ程度ニ於テ斟酌シテ、又稅率ガ定メタル、ソレカラ又日本ノ産業ノ狀況ヲ斟酌シテ、是ハ日本ニ出來得ベキモノデアル、是ハ到底出來ナイモノデアル、是ハ澤山日本ニ出來ルモノデアルト云フヤウナ工合ニ、日本ノ産業ノ狀態ヲ斟酌シテアル、又輸入ノ狀況モ斟酌スル、是ハ一旦入ッテ來ルケレドモ、是ハ製造サレテ又外國ヘ出ルモノデアル、又サウデヤナイ入ッテ來テ消費サレルモノデアルト云フヤウニ、輸出ノ狀況ヲ斟酌シテ見ル、ソレカラ負擔者ノ程度、負擔者ノ如何ト云フコト、是ハ——此稅ハドウ云フヤウニ負擔シテ往クモノダト云フ、其ノ如何ヲ斟酌シテアル、即チ生活上ノ必要品、必要品マデ、ナクトモ、生活上要用ノモノデアルトカ、又生活上必要ノモノデハナイ、全ク奢侈ニ作ツタ品ダト云フコトモ斟酌シテゴザイマス、ソレカラ最後ニハ協定稅率トノ斟酌ガシテアリマス、此品物ニハ此位稅ヲ課ケテモ宜イト云フコト、即チ此品物ト同様ノ效用ヲナス、他ノ此物ガ協定率ガ大變少ナイト云フ場合ハ、是ト斟酌ヲ取ラナケレバナラヌ、是ハモウ少シ稅ヲ取ツデモ宜イト云フヤウナ工合ニ、イロノ斟酌ガ立テアッテ、サウシテ結局今日ノヤウナ稅率ガ出タヤウナ次第デアリマス、最後ノ御尋ノ政府ハ品目ヲ明瞭ニシタ——分類ヲシタト云フノハ宜イガ、却テ物ニ依ツテハモウチット分チテモ宜イモノガ、分ケテナイデヤナイカト云フコトデアリマスガ、此分チ方ハ是ハ人ノ見ル所デ是デケガ適當デアル、モウチット分ケタ方ガ宜イカ、或ハモット合併シタ方ガ宜イカト云フデアリマスガ、大體カラ言ヒマスルト、價ノ大變差等ノアルモノハ、別ケタ方ガ——從量稅ニスルナラバ別ケタ方ガ——價ガ甚ダ變動ガアルモノナラバ、從量稅ニ限ツテ出來ナイ、是ハ從價ニシテ置カナケレバナラヌト云フヤウナコトハ、自ラソレハ方針シテ往カケレバナラヌメヌガ、例ヲ御舉ゲニナツタトコロノ輸入綿絲ノ如キハ、現今輸入セラレルモノハ、大部分ハ十萬圓以上ノモノガアル、サウ云フコトデアルカラ、政府デハ先ツ二ツニ別ケタナラバト、斯ウ見テ居リマスガ、併シソレナラト云ツテ、是ヲモット細別スルヤウナ考ヘナイカト云フト、種目ヲ設ケルニハ統計ヲ待タナケレバ、稅率ノ上ゲヤウガナイ、矢張年々ノ統計ヲ見ナケレバナラヌ、綿絲ノ如キモノハ今日デハ、モチット細ク統計ヲ取ツテ居リマスガ、統計ヲ取ツテ以來、マダ時日ヲ經過スルコトガ少ナイデ、ソレヲ以テ直チニ稅率ノ分類ニ充テルト云フマデニハ至リマセヌノデ、今日ノトコロハ現今最モ餘計這入ッテ居ルモノハ、即チ六十萬圓以上ノモノガ多イノデアリマスカラ——殆ドソレノミダト云ツテ宜シイノデアリマス、ソレニ依ツテ先ツ二ツニ別ケタト斯ウ云フデアリマス、其分類ニ付イテハ各見ル所ニ依ツテ異ナルカ知リマセヌガ、政府ノ考ヘ先ツ此位ナラバ、サウ違ツタコトハアルマイ、斯ウ云フ考デ提出致シマシタ

○荻野芳藏君 唯今御答ノ中デ一番初メノ六箇月ノ豫告ノコトデアリマスガ、少シモ分リ兼マシタカラ、モウ一ツ御尋シタイト思ヒマスガ、此獨逸トノ協定條約ガ、總テノ最惠

國ニ應用サレテ居ルコトハ分リマシタ、所ガ近頃學者間ニモ議論ノアルコトデアリマスガ、元來豫告稅ノ改正ニナルコトヲ、豫メ知ラズシテ俄ニ課セラレルト云フコトハ、其タメニ不利益デアルト云フコトカラ、此豫告法ト云フモノハ出來タモノデアラウト存ズルノデアアル、ソレヲ防グト云フ方ノ道ハ、輸入品ハ輸出國カラ出ル時ヲ、證明スルト云フ方法サイ立チマシレバ、其餘約ノ精神ニ悖ラナイコトニナル、ノデアラウト斯ウ私ハ思ヒマス、又サウ云フ議論ハ學者間ニモアルノデス、唯六箇月豫告シテ云々ト云フコトニナルト、何時モ國庫ハ見越輸入ノタメニ收入ヲ減ズルコトガ一ツ、ソレカラ第二ニハ産業界ヲ攪亂シマシテ、何時モ苦ミヲ國內ニ與ヘル、ト云フ此二ツノ害ガアリコスカラシテ、先程私ガ述ブル如ク、今ノ條約ト云フモノハ、今世間デヤカマシク云フテ居ル如クニ、解釋スルコトハ出來ナイモノデスカ、モウ一應譯イケレドモ、伺ッテ置キマス

○政府委員若槻禮次郎君 現行條約ノ解釋デアリマスレバ、唯今御尋ニナルヤウニ、輸出シタ時期ノコトデアルカラト云フテ、六箇月以内ニソレニ新シイ稅ヲ適應スルコトハ出來マセヌ、是ハ止メル方ガ宜イトカ、殊ニ大變日本ノタメニ不利益ト云フ方ノ側ノコトデアリマスレバ、免ニ角六箇月未滿ニナルコトハ、甚ダ困ル問題デアリマスノデ、止メラレ時期ガ來タナラバ、止メタイ考ハ十分持ッテ居リマスガ、現行條約ノ解釋トシテ、是ヲ六箇月マデヤラヌデ往ケルカト云フ御尋ナラバ、是ハ出來マセヌ

○荻野芳藏君 尙一應、議論ニナリマスカラモウ申シマセヌガ、此日獨條約ハ協定稅率ノ先ヅ事柄デアルト私ハ思フ、ソレデ此國定ノ關稅稅率法ヲ置イテ、サウシテ協定稅率ニ依ルヘキモノハ、無論ニハ係ハラヌデアリマスカラ、此法律ヲ施行スル上ニ於テ、アノ日獨條約ナルモノ、タメニ苦シメラレルト云フコトハ、斷シテ私ハ無イト思フ、是ハ議論デスカラモウ申シマセヌガ、尙一應……

○政府委員若槻禮次郎君 チヤント文章ノ上ニ、一般稅率及協定稅率、ト斯ウ云フコトニナッテ居ルノデゴザイマスカラ、是ハ協定稅率バカリノモノデアルト云フヤウニ、解釋スルコトハ是ハ出來マイト思ヒマス

○佐藤虎次郎君 私人輸入物品ニ付イテ意見ヲ異ニシタカラ、訴願トカ或ハ又「インヴォイス」價ト、輸入シタコロノ實際ト違ッテ居ル、或ハ又此品名ヤラ、容量ト云フモノニ付イテ、稅關ノ方ノ見所ト、實際ノ書出シテアル「インヴォイス」トハ間違ヒデアルト見ル場合等ニ付イテ、不服ヲ申立テルコト、或ハ訴願ノ方デ不服ヲ申立テナクトモ、間違ッテ居ルト見タ時分ノ衝突ナドノ規定ハ、此中ニハ見ヘマセヌヤウデアリマスガ、是ハ別ニ外ニ條項ガアリマスガ、ソレカラモウ一ツハ每百斤ト云フヤウナ風ニゴザイマス、從量稅ハ——是ハ從來ノ稅關ノ慣習ガ一斤、即チ百六十目デ既ニ取ッテアルコト、信ジマスガ、矢張是モサウデアリマスガ、ソレカラ若シサウデアラナラバ、斯ウ云フ改正ヲスル時機ニ際シテ、成タケ銀ハ世界共通デナイカラ、金本位ニスルト云フヤウナ工合ニ、百二十目ヲ一斤トスル場所ガ多イカラ、矢張磅ニスル方ガ貿易ノ上ニ便利デアルト云フヤウナコトデ、矢張是ハ多ク世界デ用井テ居ル斤目ヲ用井ル、ソレヲ課稅率ニスル方ガ便利デアルト云フヤウナコトハナイモノデゴザイマセウカ、即チ是ハ每百斤ト云フノハ、ドウ云フ即チ從前通り百六十目ヲ以テ即チ一斤トスルカ、斯ウ云フコトヲチヨット伺ヒタイノデアリマス

○政府委員若槻禮次郎君 此異議ヲ申立テタリ、訴願ヲ致シマスルコトハ關稅法ニチ

ヤント規定ニゴザイマス、此方ハ唯今率ヲ設ケタノデ、關稅ノ取扱法ハ關稅法ニゴザイマス、ソレニチヤント異議及訴願ノ規定ガゴザイマス

○佐藤虎次郎君 禁止スルナドト云フノハ、其方ニナイノデアリマスガ

○政府委員若槻禮次郎君 禁止トハ……

○佐藤虎次郎君 物品ノ輸入ヲ禁ズル箇條ハコチラニアッデ……

○政府委員若槻禮次郎君 ソレハソチラニアリマセヌ、ソレハ是デ禁止スル其禁制品ヲ持ッテ來レバ、ドウスルト云フコトハ、關稅法ニアリマスガ、何々ヲ禁ズルト云フコトハ、コチラニアリマセヌ、モウ一ツ進ムト禁ズルト云フ方ハ、治安法ニ基キテ風俗ヲ害スルモノハ輸入シテハナラヌ、或ハ衛生ニ害ノアルモノハ輸入シテハナラヌ、ト云フ根本法デスレバ宜シイノデアアル、必シモ法規ニ規定セヌデモ宜イケレドモ、物ニ依ルト根本法ガナイモノガアリマスカラ、ソコデ茲ニ置カナケレバナラヌモノデアアル、ソレカラ百斤トスルノハ、何カト云フト、是ハモウ度量衡法ト云フ國ニ一ツ制度ガアッデ、ソレニハ百六十匁トナッテ居リマスカラ、此斤ト云フノハ百六十匁ヲ申シタノデアリマス、併シソレヨリモ或ハ百二十匁ノモノヲ採ッタ方カ宜イシヤナイカト云フ御話デアリマスガ、貿易上成ルベク便利ナ基準ヲ執ッダ積リデアアル、ソレ故ニ物ニ依ッテハ「リードル」ヲ採リ、物ニ依リテハ「ガロン」ヲ採リ、或物ニ依リマシテハ「ヤード」ヲ採ッテ居ルモノモアル、必シモ日本ノ度量衡法ヲ採ッダノデアアリマセヌ、ソコハ成ルベク便利ナ標準ヲ採ルノデアリマスガ、斤ノトコロハ百斤ニ採ッダ方ガ便利ト思ヒマス、例ヘバ「ピクル」ト云フノハ、稍斤ト應ジテ來ルト云フ關係アッデ、左程ニ便利トモ認メナイノデ、茲ニ矢張内地ノ度量衡法ヲ採ッダ方カ宜カラウト認メタノデアリマス

○佐藤虎次郎君 尙チヨット此中ノ歩分ニ付キマシテ、例ヘバ茲ニ「オールドミール」ヲ鐘詰ニシタノト、何カ大キナ物ヲ入レテ來タモノト別ニ相違ハナイヤウデアリマスガ、各國デハ小サイ何カ鐘詰ニスルトカ、或ハ小サイ袋ニ入レルト、餘計ニ稅ヲ取ル、容量ノ大キイモノニ多クノ品ヲ入レテ來ルト、ソレヲ廉クスルト云フヤウナコトガ慣例ニナッテ居ルヤウデアリマスガ、是ヲチヨット見マシタトコロデハ、餘リ其差ヲ認メテナイヤウデアリマスガ、サウ云フノハ面倒ダカラ、一ツニシタト云フ御方針デアリマスガ

○政府委員若槻禮次郎君 鐘ニ入ッテ居ルノト、居ラヌトハ大分此稅率表ノ中ニ區別シテ出シテ居リマス、鐘ニ入ッテ居ルモノハ鐘ノ代モ這入ッテ居ルノデ、又鐘ニ入レル位ノモノデアレバ、其數ガ多ク這入ッテ來ルト云フコトモアリマスノデ、自然品物ガ多イト云フコトニナリマスカラ、ソコハ成ルベク公平ニスルタメニ分ケタ方カ宜イト云フノデ、斯ウシタノデアリマス、又酒ノ如キモ瓶ニ這入ッテ來ルモノハ、自カラ良イモノデアアル、樽デ這入ッテ來ルモノハ自カラ種類ガ惡イノデアリマスカラ、ソコ等ヲ分ケタノデアリマス「オールドシール」ノミヲ見テ、御話ニナリマシテハ……

○佐藤虎次郎君 或ハ茶ト云フヤウナ……

○政府委員若槻禮次郎君 其品物ニ付イテハ又其處デ御答ヲ致シマス

○波多野傳三郎君 ナカ／＼此質問ハ急ニ了ラウトモ思ヒマセヌシ、東尾君荻野君ノ御質問ニ對シテ、政府委員ノ答辯等モ未ダ盡キタリトモ言ハレマセヌカラ、本日ハ既ニ十二時モ過ギマシタカラ、今日ハ是デ此會ヲ閉チラレマシテ、兼任外務大臣、大體ノ政

策ノ御話ノ出來ル總理大臣ト、大藏大臣ガ御出席ニナルヤウニナツテ會ヲ開イテ、今日ハ是デ散會ヲ望ミマス

○委員長栗原亮一君 ソレデハ大臣ノ都合ヲ問合セマシテ、明日午前カ午後ニ開クコトニ致シマス、散會致シマス

午後零時五分散會

關稅定率法改正法律案委員會會議錄第二回中訂正

出席委員山本悌二郎君ノ次ニ宮崎榮治君ヲ脫ス